

# 「さわやか軽井沢



## ふるさと寄附金」

### 活用報告書（H30 年度版）

今回の「さわやか軽井沢ふるさと寄附金活用報告書」は平成 29 年中に皆様から頂いた寄附を平成 30 年度に配分し、活用させていただいた報告となります。  
(平成 29 年中の寄付金額と活用額との相違は、前年度までの留保分と運用益分を加えているためです。)

平成 29 年中 寄附金内訳（平成 30 年度に活用）

(円)

メニュー	指定校	件数	寄附金額	活用額
守ろう豊かな自然		13 件	2,980,000	2,980,000
育もう教育と文化 475 件 (教育応援分については、95%は指定校へ、5%は町教育振興事業へ配分されます。)	ISAK	468 件	350,831,000	333,289,000
	軽井沢高校	2 件	60,000	翌年度へ留保
	軽井沢中学	0 件	0	0
	一般	5 件	210,000	17,842,000
	合計		475 件	351,101,000
増やそう健幸人		4 件	100,000	100,000
おまかせ		9 件	6,590,000	6,600,000
合計		501 件	360,771,000	360,811,000

平成 31 年 4 月作成

## さわやか軽井沢ふるさと寄附金活用メニュー

寄附金活用メニュー	主な活用内容
守ろう豊かな自然	自然環境の保全・景観整備・野生動物との共生・ごみ対策・地球温暖化対策 等
育もう教育と文化	子どもの健全育成・国際交流・芸術活動の振興・文化施設保存、補修 等 「教育応援分」・・・町内学校を指定して応援 「文化施設保存・補修」・・・国の重要文化財である旧三笠ホテルや町の文化施設等の保存補修
増やそう健幸人	健康促進・高齢者や障がい者のいきがづくり・病院機能の充実 等
おまかせ	寄附金の活用を指定しません

「さわやか軽井沢ふるさと寄附金」で、軽井沢町に対し貴重なご寄附をいただき誠にありがとうございました。

今回、皆様からいただきました貴重な志である寄附金の活用内容につきまして報告させていただきます。

今後とも軽井沢町へご支援を賜りますようお願い申し上げます。

下記は、平成 30 年中の寄附金内容です。

(平成 31 年度に活用させていただきます。)

(円)

メニュー	指定先	件数	寄附金額
守ろう豊かな自然		12 件	650,000
育もう教育と文化	ISAK(※1)	377 件	366,467,000
	軽井沢高校(※1)	3 件	210,000
	旧三笠ホテル(※2)	1 件	30,000
	文化施設等(※2)	4 件	11,600
	指定なし	2 件	40,000
	合計	387 件	366,758,600
増やそう健幸人		3 件	90,000
おまかせ		13 件	2,705,000
合計		415 件	370,203,600

※1 教育応援分については、95%は指定校へ、5%は町教育振興事業へ配分されます。

※2 旧三笠ホテル・文化施設等は保存・補修の事業へ配分されます。

## 守ろう豊かな自然

鳥獣対策経費 2,980 千円 (環境課)

軽井沢町の象徴である浅間山には、四季折々の素晴らしい豊かな自然が広がっています。浅間山周辺には国指定浅間鳥獣保護区、長野県鳥獣保護区が指定されており、多くの野生動物が生息しています。

町では野生動物たちとの共生を目指しながら、人身事故等が発生しないよう様々な対策をしています。

ツキノワグマ対策では、捕獲されたクマに発信器を装着した個体管理、クマが生活区域内に近づかないよう、ベアドッグによる追払い対応や学習放獣、出没情報への対応、誘引物を除去する指導等を行っています。

アライグマ等対策事業では、ハクビシン等中型野生動物による屋根裏などへの侵入被害対応や、特定外来種であるアライグマ・アメリカミンクの捕獲駆除を実施しています。中型野生動物は、適切に管理されていない家屋や空き家に棲みつく場合がありますので、家屋の適正な管理をお願い致します。

また、アライグマ・アメリカミンクは生息数を増やさないため、早期の対応が必要となりますので、見かけた際には連絡をお願い致します。

ニホンジカ・イノシシ対策として、町猟友会の協力を得ながら、町内全域の捕獲駆除を継続実施しています。

ニホンザル対策は、町の有害鳥獣専門員2名とサル追払い対策員5名により、365日常に群れの監視と追払いを実施し、住宅地へ出没しないよう国有林内への追い払いを実施しています。

町では、ツキノワグマの出没情報やニホンザルの位置情報をメール配信サービスとホームページ「さるくまなびねっと」で情報提供しておりますので、ご利用ください。



## 育もう教育と文化

教育応援分 333,289 千円 (ユナイテッド・ワールド・カレッジ ISAK ジャパン)

UWC ISAK は世界中の高校 1～3 年生を対象とした、国際社会で変革を起こせるようなチェンジメーカーを育成する全寮制国際学校です。

2017 年 6 月に初めての卒業生を送り出し、同年 8 月には「世界の平和と持続可能な未来を実現するために、教育の力で世界の人、国、文化をひとつにする」ことをミッションに掲げ、50 年以上の歴史を持つ国際的な民間教育機関である United World College に正式に加盟しました。

今は世界 73 ヶ国から集まった 190 名が、国籍だけでなく社会経済的にも様々なバックグラウンドの違いを乗り越え、たくさんの刺激を与えています。

ふるさと納税を通じたご支援のお蔭で、半数以上の生徒に対してそれぞれの経済状況に応じた奨学金を給付することが出来ました（ふるさと納税を含む全体では、約 7 割の生徒に奨学金を給付）。能力とやる気があり、強い目的意識をもつ全ての若い人達にチャンスを与えられる学校になるために、皆様からお預かりしたご寄付は大切に奨学金基金として使わせていただきます。

皆さまの応援のお蔭で、これまでできなかったことに取り組んだり、新しいアイデアを形にするような試みに挑戦できるようになってまいりました。これからも、地域社会に貢献しながら、新たなフロンティアに臨み、時代を切り拓いていく生徒たちを育成できますよう、たゆまぬ努力を重ねてまいります。これからもどうぞよろしくお願い致します。





## 育もう教育と文化

17,842 千円 こども教育課

教育振興事業 (運用益分)	小学校英語指導助手経費	(13,157 千円)
	中学校英語指導助手経費	(4,385 千円)
	放課後子どもプラン事業経費	(210 千円)
	放課後子どもプラン事業経費	( 90 千円)

放課後子どもプラン事業では、児童館を利用し、小学生の放課後に安心・安全な居場所を確保するとともに、宿題等の学習活動や、体験教室としてのスポーツ及び文化活動、地域の大人や異年齢の子どもたちとの交流活動・昔遊び・生徒指導を行いました。

英語指導助手配置事業においては、各小中学校に外国人の英語指導助手を1名ずつ配置し、小学校では英語の体験的な授業を通して、また、中学校では英語授業の中で発音や会話練習を行い、児童生徒が生きた英語に継続的に触れることによって、英語能力の向上を図りました。

また、中間教室事業では、学校に行きにくくなったり、行けない状態が続いている小中学生の居場所を提供するため、必要な備品の購入等を行いました。

今後も引き続き、心豊かでたくましい軽井沢の子どもの育成を目指してまいります。



## 増やそう健幸人

健康づくり事業 100千円 (保健福祉課)

保健福祉複合施設「木もれ陽の里」健康増進部門では、浴室、水中歩行用プール、運動トレーニング室を整備しております。

ひとりでも多くの方に、健康的ないきいきとした生活を送っていただけるよう、理学療法士や健康運動指導士、保健師などの専門スタッフによる、個別運動指導やリハビリ指導、個人の体力や運動能力、健康状態に適した運動プログラムを提供し、楽しく無理のない運動の習慣化と健康増進の応援をさせていただいております。

また、浴室は温泉を利用し、神経痛、筋肉痛、冷え症、疲労回復などに効果があります。どなたでもお気軽に入浴していただけますので、日々の心身のリフレッシュにぜひご利用ください。



## おまかせ

6,600 千円	こども教育課	
	児童福祉施設整備経費	(6,590 千円)
(運用益分)	児童福祉施設整備経費	(10 千円)

児童福祉施設の施設整備事業として以下のとおり実施いたしました。

### ○西地区児童館太陽光発電設備設置他工事

「軽井沢町地球温暖化対策実行計画」のもと温室効果ガスの排出量の削減に努めるため、発電時に温室効果ガスを発生しない再生可能エネルギーである太陽光発電装置を西地区児童館の屋根に設置しました。

(西地区児童館屋根への設置状況)

